

北海道

Hokkaido Tourism Organization

観光レポート

2022年
令和4年9月30日発行

秋 号



3年ぶりに行動制限のない夏の観光シーズンを迎え、
7月の来道客数(下り便)は2年6か月ぶりに100万人を超え、順調に推移している。

トピックス 令和4年度通常総会で、小金澤会長が新たに就任

編集コラム コロナ禍で推進する高付加価値化とは？

HOKKAIDO LOVE!



北海道の延べ宿泊者数実績

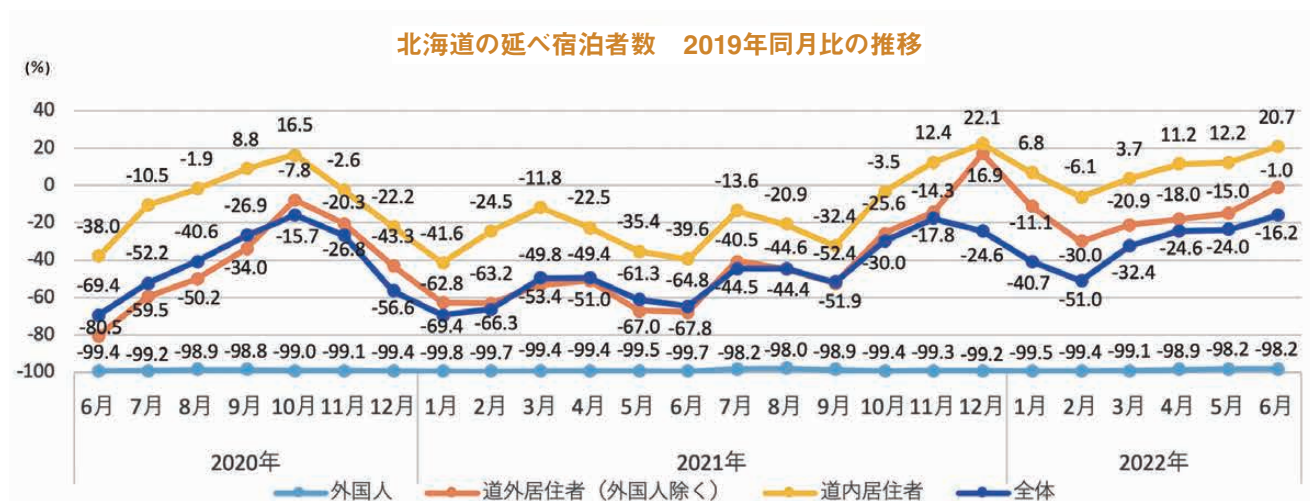
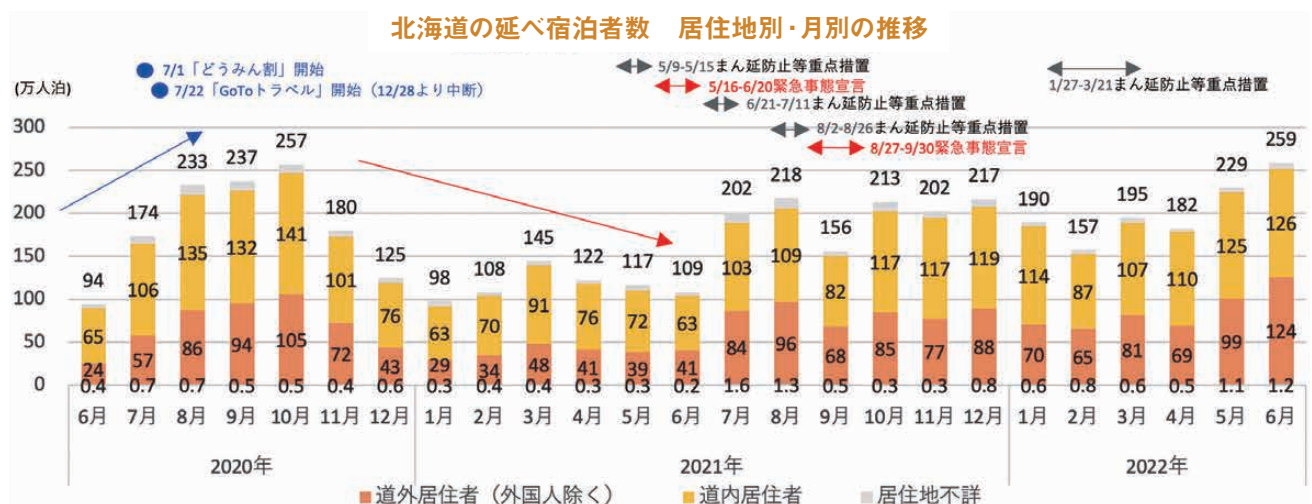
2022年6月

- 北海道の延べ宿泊者数(全体)は、6月は259万人泊(前年同月比+138.2%、2019年同月比-16.2%)であった。2020年10月の257万人泊を超え、新型コロナウイルスが感染拡大した2020年3月以降で最多の人泊数となった。
- 北海道の日本人延べ宿泊者数は、6月は258万人泊(前年同月比+137.6%、2019年同月比+5.7%)であった。新型コロナウイルス感染拡大前の2019年同月比からプラスとなったのは昨年12月以来半年ぶりとなり、国内においては回復してきている。
- 北海道の外国人延べ宿泊者数は、6月は1万2千人泊(前年同月比+417.5%、2019年同月比-98.2%)となり、2か月連続で1万人泊を超え、前年同月も大きく上回った。入国制限が緩和され、徐々に増加傾向にあるものの、依然として少ない状況が続いている。
- 居住地別・月別の推移は、道外居住者(外国人を除く)は6月124万人泊(前年同月+207.2%、2019年同月-1.0%)、道内居住者は6月126万人泊(前年同月+99.7%、2019年同月+20.7%)となった。2019年度同月比を比較すると、道外居住者においてはマイナスではあるものの3月から徐々に回復、道内居住者においても3月から4か月連続でプラスとなった。

延べ宿泊者数データ(2022年6月第2次速報)

(単位:人泊)

	北海道			全国		
	全体	日本人	外国人	全体	日本人	外国人
2022.6	2,587,650	2,576,110	11,540	34,472,460	33,836,260	636,200
2019同月比	-16.2%	+5.7%	-98.2%	-24.7%	-6.6%	-93.4%
前年同月比	+138.2%	+137.6%	+417.5%	+73.2%	+72.1%	+159.2%



出典:「観光庁宿泊旅行統計調査」をもとに当機構作成
注1:2022年1月~2022年6月は速報値。

来道者輸送実績

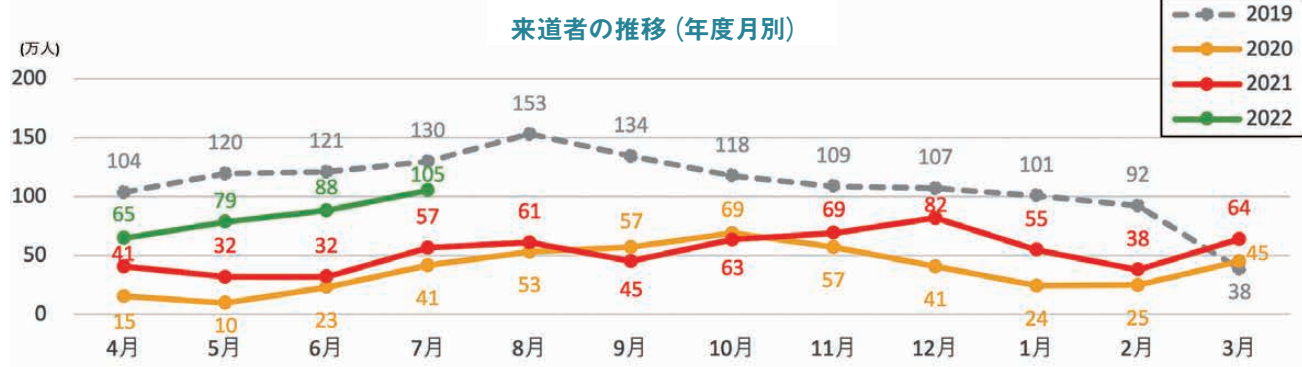
2022年7月

- 2022年7月の来道者数は105万4千人となり、前年同月比+86.4%であった。新型コロナウイルス感染拡大前の2020年1月以来、2年6か月振りに100万人を超えた。
- 感染拡大前の2019年7月と比較すると-18.8%となり、今年4月(2019年4月比-37.5%)、5月(同5月比-34.3%)、6月(同6月比-27.2%)と回復傾向が見られる。
- 輸送機関別の来道者数は、航空機が91万4千人で前年同月比+92.5%、JRが5万2千人で前年同月比+84.4%、フェリーが8万8千人で前年同月比+41.0%となり、各輸送機関で前年同月を大きく上回った。
- 発地空港別の来道者数は、関東が57万5千人と全体の63%を占め、次いで関西14万4千人(16%)、名古屋7万5千人(8%)、東北5万4千人(6%)となった。
- 着地空港別の来道者数は、新千歳・丘珠が73万2千人と全体の80%を占め、次いで函館5万7千人(6%)、旭川5万人(5%)、帯広2万5千人(3%)、釧路2万人(2%)、女満別2万人(2%)となった。

来道者輸送実績(輸送機関別)

(単位:人)

	総数	航空機	JR	フェリー
2022.7	1,054,495	914,381	52,000	88,114
2019同月比	-18.8%	-17.6%	-31.8%	-21.7%
前年同月比	+86.4%	+92.5%	+84.4%	+41.0%



来道者輸送実績(発地空港別)

(単位:人)

	東北	関東	北陸・信越・東海	名古屋	関西	中国・四国	九州・沖縄
2022.7	53,835	575,192	23,565	75,286	143,888	9,178	33,437
2019同月比	-27.0%	-21.4%	-10.3%	-5.8%	-5.2%	-32.2%	+0.5%
前年同月比	+85.1%	+88.3%	+189.0%	+92.7%	+89.7%	+350.6%	+118.9%

来道者輸送実績(着地空港別)

(単位:人)

	新千歳・丘珠	函館	旭川	帯広	釧路	女満別	稚内	紋別	中標津
2022.7	731,704	57,406	49,505	24,801	19,709	19,595	6,661	2,199	2,801
2019同月比	-16.8%	-14.6%	-11.7%	-19.6%	-25.6%	-39.9%	-29.9%	-28.9%	-38.5%
前年同月比	+93.0%	+94.0%	+104.1%	+104.3%	+70.7%	+47.1%	+80.8%	+126.5%	+1329.1%

出典:「北海道観光振興機構来道者輸送実績調査」をもとに作成

今号の注目!

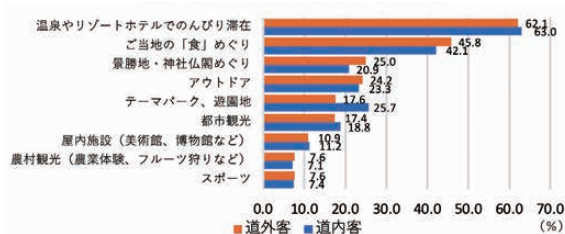
コロナ収束後に期待する北海道観光・旅行は、「温泉やリゾートホテルでのんびり滞在」が最多。

コロナ収束後に期待する観光・旅行内容について、最も多かったのが、道外客・道内ともに「温泉やリゾートホテルでのんびり滞在」であった。次いで、「ご当地の「食」めぐり」が多く、他の旅行内容を大きく上回った。その他では、「景勝地・神社仏閣めぐり」、「アウトドア」が同等の期待値であった。

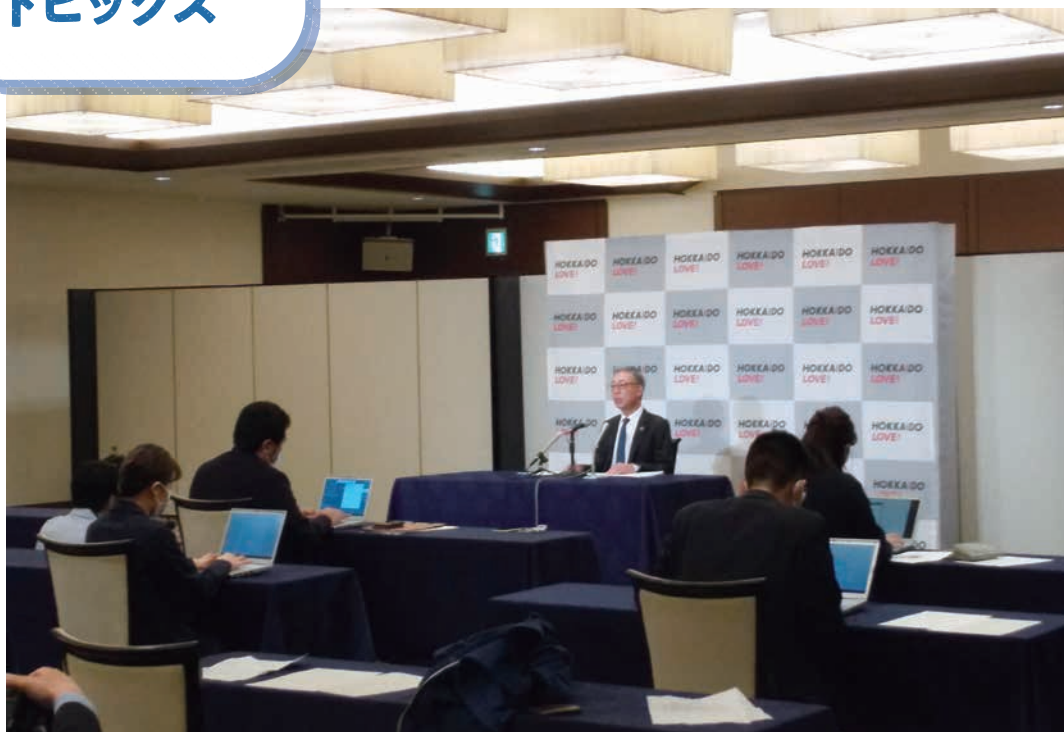
詳細は北海道の観光統計データサイトにてご確認ください。

PC版はこちら ⇒ <https://statistics.visit-hokkaido.jp/>

コロナ収束後に期待する観光・旅行内容



出典:「令和3年度北海道来訪者満足度調査報告書」より一部抜粋



令和4年度通常総会で、 小金澤会長が新たに就任

当機構は6月27日に、令和4年度通常総会を京王プラザホテル札幌で開催し、令和3年度事業決算や理事・監事の選任について満場一致で承認されました。その後開催された理事会において、小金澤 健司理事（株式会社アイティ・コミュニケーションズ代表取締役会長）が新会長として選任されました。

総会の席上で小金澤会長から、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大から約2年半が経過したが、北海道のリーディング産業であり、地域経済を支える重要な柱である観光は最も打撃を受けている産業であり、早期の再生・再興に向け全力を傾けると決意表明がありました。

（主な発言内容は、以下のとおり）

落ち込んでいる観光需要を回復させるため、どうみん割（ブロック割）など限定されている割引制度から、全国旅行支援（全国版）の一刻も早い再開と、1日2万人に制限されている海外からの入国枠の拡大を国などに強く要望します。

2020年6月、北海道、北海道エアポート等とともに、全国・海外に向け「北海道を忘れないで・北海道は待っています」をテーマにスタートさせた「HOKKAIDO LOVE!プロジェクト」をより加速化させるため、私自身も先頭に立ってプロモーションを行います。

新型コロナウイルスの感染拡大は、我々の生活様式や価値観に大きな変化をもたらしたが、観光機構もこの環境の変化に柔軟に対応していくため、外部の著名な有識者から多様な知見をいただき、施策への反映と実現のためプロジェクトを立ち上げます。

観光機構が広域連携DMOとして、北海道観光の先導役となり会員の皆様の繁栄はもとより、北海道経済の発展に貢献できるよう取り組みますので、皆さまのより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

7月25日 外部の有識者による 第1回改革プロジェクトチームが発足



観光機構は、北海道観光の司令塔としての役割を果たすことが求められていますが、今後の役割・位置づけを再整理し、事業内容、組織運営、財務体質の抜本的な見直しに関して、機構のあるべき姿を検討するため、外部有識者10名からなるプロジェクトチームを設置し、第1回の会議を開催しました。

冒頭、小金澤会長は、観光機構は設立から14年を経過し、事業や執行体制、組織が

時代にマッチしていないと感じる。環境に柔軟に対応できる組織体制の確立や安定的な運営のための自主財源の確保といった課題の解消に向け、様々な分野で活躍される有識者の皆様にご協力をお願いしたいと発言しました。

今後、改革プロジェクトチームでの議論については、年末を目途に提言としてまとめられ、小金澤会長に報告される予定です。



キュンちゃん 公式ネットショップ2022年10月オープン予定!!

キュンちゃんのクリアファイルやボールペン、Tシャツ、ぬいぐるみなどを1点から購入可能です!

URL <https://kyunchanshop.official.ec>



北海道観光振興機構 事業活動報告

令和4年7月～8月

※各部で展開している事業の一例をご報告いたします。

総務企画本部

道内経済4団体で、鈴木北海道知事に対し社会経済活動の早期回復を要望

8月23日に、北海道経済連合会、北海道商工会議所連合会、北海道経済同友会などとともに、鈴木北海道知事に対し要望活動を実施しました。直近の感染拡大(「第7波」)に対し、基本的な感染防止対策を徹底しながら過度な行動制限を控え、企業の事業継続の下支えのため、社会経済活動の早期回復を図っていただきたいとの趣旨で、現在実施中の旅行助成事業「どうみん割」やプレミアム食事券「ほっかいどう認証店応援クーポン」などの需要喚起策の継続実施、北海道などが主催する会議やイベントの着実な実施について要望しました。鈴木知事からは、国の動きを見つつ今後とも実施したいとのコメントがありました。



経済4団体による知事への要望の様子

※各部で展開している事業の一例をご報告いたします。

地域観光部

バリアフリー観光窓口の実証実験を新千歳空港で実施(今年度2年目)

7月26日より、新千歳空港の到着ロビーに「しょうがい者・こうれい者観光案内所」を設置し、観光案内所が担う役割・機能について実証実験を行っています。また、2030年北海道・札幌オリンピック・パラリンピック冬季競技大会などを見据え、ゲートウェイでの受入れ環境整備について、企業(産)、大学・研究機関(学)、行政(官)(合計16団体)から構成された横断的なワーキンググループを発足させ、バリアフリー観光窓口の「北海道モデル」を確立させるため、様々な課題などの検証を進めます。



新千歳空港のバリアフリー観光窓口

地域観光部

ニセコエリアの二次交通の広域化が始動！ (エンターテイメントバス実証運行事業)

地域の課題を解消させる様々な取り組みに対し積極的に支援を実施しています。今般、7月15日から8月28日までJR倶知安駅を拠点として、「スカイバスニセコ」を花園エリア、ひらふ地区、ニセコビレッジを経由しJRニセコ駅まで、1日あたり8往復運行し、夏のニセコエリアの観光スポットを観光客のほか地元の方にもたくさん利用されました。今回の実証結果を踏まえ、地域での2次交通の脆弱さの解消と今後の持続可能な運行に向け検証します。



スカイバスニセコの全景

AT推進部

北海道と国内他地域をつなぐ新たなATコースを造成



商談会の様子

6月27日から5日間、道内ツアーオペレーター6社、道外ツアーオペレーター4社が参加し、アドベンチャートラベルコンテントの現地調査と商談会を実施しました。上川エリアにおいて、大雪山トレッキング、E-Bikeツアー、アイヌ文化体験を実施。その後、意見交換会や商談会を実施し事業者間のネットワークを構築しました。欧米のAT事業者が求める、ひとつの地域に限らない日本全国のAT商品開発のため、北海道と他地域を繋ぐ長期コースの造成を行います。

海外誘客部

海外の富裕層を誘客するための事業を開始



modern ラグジュアリーイメージ

6月に渡航制限が解除され、1日2万人の範囲内で訪日旅行者の入国受入が実施されていますが、当部では渡航の更なる緩和がなされることを想定し、「Modern Luxury」層を重点ターゲットとして映像制作・FAMトリップ・商談会・オンラインセミナーなど様々な施策に取り組んでいます。今後も北海道の更なる魅力の発信と認知度向上を進めます。

札幌ドームで「大ほっかいどう祭」に出展

8月6日、7日に札幌ドームにおいて今年初めて開催された、「大ほっかいどう祭」に出展しました。全道から多くの自治体・観光協会などが地元の特産品販売や観光PR、ふるさと納税の紹介などを実施、当機構もHOKKAIDO LOVE! LINE公式アカウントの登録を来場者に呼びかけるなどのPRを行いました。新型コロナウイルスの感染拡大傾向での開催となったため、当初の目標来場者数(2日間合計)である3万人には及びませんでしたが、次年度に向け当機構も本イベントが持続的かつ効果的なイベントとなるよう積極的に関わっていきます。



大ほっかいどう祭の様子

政策・マーケティング部

北海道どさんこプラザ(東京、大阪)で、優良顧客調査を実施

当機構は、様々なマーケティング調査・分析を行っています。会員の皆様や当機構の施策へ反映いただいておりますが、今般、道産品のテストマーケティング活動の拠点である、北海道どさんこプラザ「有楽町店」(東京)、「あべのハルカス店」(大阪)において来店されるお客様を対象に北海道に関する興味・関心や北海道旅行との関係性について調査を実施中です。調査・分析結果については、来年2月以降に公表予定としています。



有楽町店での優良顧客調査の様子

北海道観光振興機構 事業活動予定

令和4年10月～

地域観光部(観光人材確保・育成事業)

アフターコロナを見据え、 外国語ガイド研修を8月より開催中

当機構では、観光関係人材の育成を図るため、外国語を用いた観光ガイドを志す方たちのために外国語ガイド研修(1講座あたり15回実施、対面・オンライン・eラーニング)を実施しています。研修メニューは初級者向け、上級者向け、通訳案内士試験対策講座からなり、英語、中国語、韓国語の3言語から選択が可能です。このほか、就業機会創出のため通訳案内士と観光関連企業とのマッチングイベントも実施します。各コース日程については特設サイトでご確認ください。

<https://www.ec-mice.com/interpreter/>

AT推進部

ATWS2022スイス・ルガーノで開催!

10月3日から6日まで、アドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)2022がスイス・ルガーノで開催されます。来年9月の北海道開催に向け、ATWS2023北海道実行委員会のメンバーや、日本政府観光局(JNTO)と共に当機構も参加し、スイス・ルガーノの大会運営を現地で確認しノウハウを学びます。また、北海道のAT商品に関する認知度を高めるために、AT専門の旅行会社やメディアに対し、PRを行います。



ATWS2022スイス・ルガーノの案内

国内誘客部

本年も北海道まるごとフェアinサンシャインシティに出展!

10月7日から東京池袋で開催される北海道まるごとフェアinサンシャインシティ(事務局:(一社)北海道商工会議所連合会)に出展し、秋冬の北海道観光PRを実施致します。会場では、道内各地域の紹介のほか、HOKKAIDO LOVE! LINE公式アカウントの登録を来場者に呼びかけます。(※催事イベント等は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となる場合がございます)



昨年の北海道まるごとフェアの様子

株式会社メディカルシステムネットワーク

所在地：札幌市中央区北10条西24丁目3番地

多湖(たご)取締役執行役員
経営戦略本部長様



■ 社業の沿革などについて教えてください。

当社は、1999年に医薬品卸、薬局、システム開発会社経営の経験をもつ3名の創業者が結集してスタートしました。創業時に掲げた理念が、医薬品の効率的なサプライチェーンマネジメントを実現することで、将来にわたって持続可能な社会インフラを構築し、地域の医療と健康な暮らしを守ることです。現在、全国で425店舗を数える地域薬局の運営のほか、医療機関や薬局を中心とした加盟店様の医薬品の購入や在庫管理、支払い代行など様々な業務をサポートする医療品ネットワーク事業などを展開しております。特に、『なの花薬局』の名前で展開している地域薬局は、道内に123店舗構えており、道内では一番多い店舗数となっています。

■ 現在、積極的に取り組んでおられる事業について教えてください。

近年、力を入れているのが、診療科目が異なる複数のクリニックと『なの花薬局』が1つの建物内や場所に集約し運営する『医療モール開発』の展開です。札幌市内の地下鉄二十四軒駅前(メディカルスクエア二十四軒)や、南平岸(札幌市東区南平岸ベース内メディカルスクエア南平岸)、南22条(アクロスプラザ南22条)など都市型のほか、新ひだか町では地方型医療モール(メディカルビレッジ)なども展開しており、患者様に安心感と利便性を、開業医にとっても集患面と施設運営の両面で相乗効果を提供しております。



メディカルスクエア南平岸

また、医療品ネットワーク事業において、薬局の経営安定化のニーズの高まりにしっかり対応すべく、全国約6万店ある薬局のうち、約20%の加盟件数を中期の目標に掲げ展開中です。一方、患者様にはLINE公式アカウント『つながる薬局』の提供により、薬剤師へのチャットによる相談や『おくすり手帳』の電子化などで、デジタル技術を使った薬局での感染対策や待ち時間の削減などデジタルシフトによる利便性も確保しています。当社の子会社(株式会社ファーマシフト)が2021年3月のサービス開始から1年半弱(8月6日現在)でお友達登録数40万人を突破しており、今後もさらなるサービスの充実を図っていきます。

■ 社会貢献活動を積極的に推進されていると伺いましたが、こういった内容が少し教えてください。

当社では、『地域の笑顔のために、社員が笑顔になる会社へ』をモットーに、社員も参加した地域との絆を深める形での健康意識の啓発、スポーツを通じた健康増進、文化・芸術活動などに対し積極的に支援を行っています。一例として、1999年に創業者(代表取締役社長・田尻 稲雄)が中心となってNPO法人(北海道バーバリアンズラグビーアンドスポーツクラブ)としてスポーツ団体初の法人格を取得し、ラグビーのヨーロッパ型クラブ組織を立ち上げました(クラブの設立自体は1975年)。同クラブは、2007年には札幌市南区定山溪地区に自前で、グラウンドとクラブハウスを取得し活動する傍ら、2008年にはクリケット、パークゴルフ、クロスカントリースキーの種目も取り入れ地域に密着した総合型クラブへと発展し、ジュニアやレディース、障がい者の方へのスポーツ活動普及にも積極的に取り組んでいます。その結果、2017年にはグラウンドとクラブハウスがJOC認定競技別強化センターに認定されるなど、充実した環境を様々な団体の皆様に提供しており、同クラブでは、今後も『定山溪スポーツパークタウン構想』を掲げ、定山溪地区の年間を通じた活性化のため、温泉街の関係者とともに連携を図っていく予定です。当社グループでは、同クラブの活動をサポートしております。

政府は2022年6月7日、「経済財政運営と改革の基本方針」、いわゆる骨太方針2022(政権の重要課題や翌年度予算編成の方向性を示す方針)を閣議決定した。2001年の小泉政権時から始まったこの方針は、毎年6月に首相が議長を務める経済財政諮問会議において策定される。年末の予算編成に向けて、国の政策の基本的な方向性を示すものとなっており、毎年注目されている。

発表された資料によると、岸田政権が発足以降掲げてきた「新しい資本主義へ」という主題のもと、課題解決を成長のエンジンに変え持続可能な経済を実現と明記されている。

最初に、「人」への投資と分配やグリーントランスフォーメーション(GX)、デジタルトランスフォーメーション(DX)への投資などが重点投資分野として挙げられている。

一方、観光分野においては、我が国の成長戦略の柱の一つであり、地域経済と雇用を支える「観光立国の復活」としっかり明記したうえで、多極化・地域活性化の推進として、当面の国内需要喚起策に加え、「観光地・観光産業の再生・高付加価値化」について触れられている。コロナ禍で依然として厳しい状況にある観光地の再生に向け、宿泊施設の改修やデジタル実装、景観を損ねる廃屋の撤去、観光施設改修、民間活力導入を前提とした公的施設改修等の支援が複数年で実施できるよう、基金化も検討されている。

観光庁が令和2年度3次補正で公募した、「既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業(予算550億円)」を活用し、道内においても各地で観光地の再生に向け動き始めている。北海道の空の表玄関・千歳市では、「支笏湖観光拠点再生計画」に基づき、ユース hostel 跡地(廃屋撤去)のアドベンチャートラベル拠点施設「支笏湖Village構想」や、温泉街の宿泊、商店街での高付加価値に向けた改修、公共施設の改修(民間活力の導入)により、長期滞在による観光消費額の拡大を目指している。また、来年9月に北海道で実開催が予定されるアドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)を契機として、欧米AT顧客層に自然の中でのリラクゼーション、最高の食事、国立公園内でのアクティビティをアピールすべく受け入れ体制整備や、特産品の支笏湖チップ(ヒメマス)の商品開発などにも取り組んでいる。

高付加価値化の動きは観光分野だけではなく、文化の分野においても経済・地域経済活性化の観点で、文化資源の高付加価値化に取り組んでいる。文化庁が令和3年度から取り組んでいる「ウィズコロナに対応した文化資源の高付加価値化促進事業」では、昨年7月にユネスコの世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成遺跡である函館市の垣ノ島遺跡と大船遺跡を中心とした史跡と周辺のアクティビティを組み合わせ、「これまでバラバラにあった観光資源と文化資源を「縄文」というストーリーでひとつに」をコンセプトに、1人30万円以上のフルオーダーメイドツアー(Discover Jomon 函館1万年の道のり)を造成し世界のハイエンド層に紹介している。プロモーション映像において、学術的成果に基づくストーリー作りが体现されており今後に期待される。

今回紹介した2つの事例もさることながら、ポストコロナを見据え、人口の減少が加速化する中、デジタルの力を活用しながら持続可能な観光地づくりをさらに推進していかなければならない。令和4年度の観光庁の「地域と一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化」事業への申請要件に、地域での合意形成に基づいた地域計画(中・長期的な観光地の再生・高付加価値化プラン)の作成が求められている。また、地域計画の作成支援もこの事業において専門家派遣等の実施が可能である。取りまとめは地元の自治体やDMOが担うが、実際に地域計画に基づき行動するのは地元住民が中心となるため、高付加価値化に向けての本気度が試される。

(Y・N)



改修された「支笏湖チップの里」



ツアーの舞台となっている大船遺跡



ツアーを紹介するHP

ウェブサイト「HOKKAIDO LOVE!」(日本語)の閲覧ユーザー情報から見る 北海道への地域別の興味関心度と検索ボリュームの推移

■ 検索行動、北海道観光公式サイトHOKKAIDO LOVE!の利用からみる北海道観光への興味関心

直近の5～7月は関東方面からの閲覧が伸びている。

他方、関西方面からの閲覧が減少している。

居住地	2022年5-7月	2022年3-4月	2022年1-2月	2021年度	2020年度
北海道	20.3%	23.0%	20.4%	23.2%	27.0%
東北	1.8%	2.2%	2.4%	2.5%	2.2%
関東	54.8%	42.8%	42.8%	41.5%	41.9%
中部	7.2%	9.5%	9.6%	9.2%	7.6%
関西	10.4%	15.8%	17.9%	16.9%	15.9%
中国	1.5%	1.8%	2.0%	1.9%	1.5%
四国	0.7%	0.8%	0.9%	0.8%	0.7%
九州	2.7%	3.5%	3.6%	3.5%	2.7%
沖縄	0.3%	0.4%	0.4%	0.4%	0.4%

▶ 閲覧地域の都道府県別トップ10

居住地	1-2月	3-4月	5-7月	5-7月と対3-4月のシェア率の変動	居住地	1-2月	3-4月	5-7月	5-7月と対3-4月のシェア率の変動
北海道	20.4%	23.0%	20.3%	-2.7ポイント	埼玉	3.3%	3.3%	2.6%	-0.7ポイント
東京	22.7%	24.8%	43.6%	18.8ポイント	千葉	2.7%	2.6%	2.3%	-0.3ポイント
神奈川	11.7%	10.0%	4.6%	-5.4ポイント	兵庫	2.4%	2.4%	1.8%	-0.6ポイント
大阪	12.3%	10.4%	6.1%	-4.3ポイント	福岡	2.2%	2.3%	1.7%	-0.6ポイント
愛知	5.3%	5.1%	3.6%	-1.5ポイント	静岡	1.2%	1.3%	1.2%	-0.1ポイント

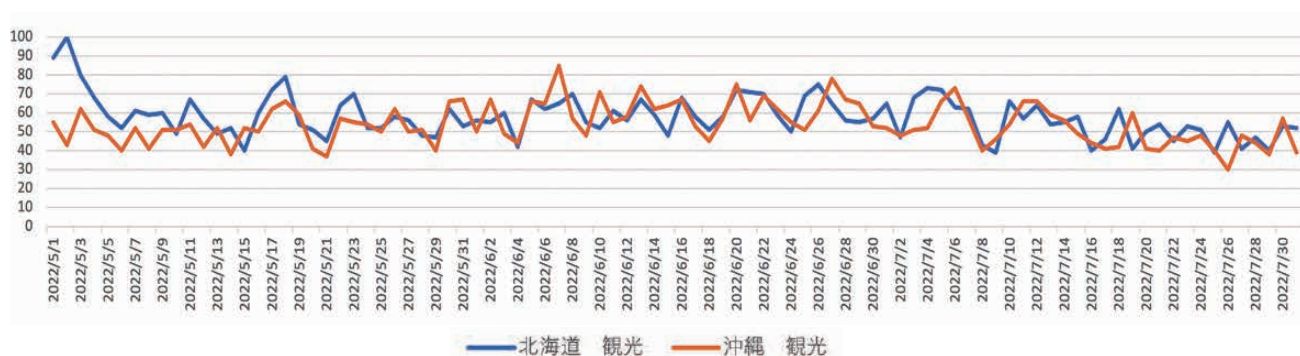
前回(2022年3～4月)と比較し、今回(2022年5～7月)は東京からの閲覧者(自然検索からの流入が2～4月と比較しても倍増)が18.8ポイントと大幅に増加している一方、神奈川からの閲覧者が-5.4ポイント減など、東京以外からの閲覧者が全体的に減少している。

■ 検索ボリュームから見るユーザーの「北海道 観光」への興味関心度

▶ 検索から見る関心度

直近3ヵ月の北海道と沖縄の比較では、5月は北海道への関心が高く、6月以降はほぼ同水準で推移していたが、感染拡大傾向の兆しが見え始めた7月以降は検索ボリューム自体が減少している。

直近3ヵ月の「北海道 観光」「沖縄 観光」の検索ボリュームの比較



出典:Googleトレンド 集計期間:2022/5/1～2022/7/31

SNS「HOKKAIDO LOVE!」(日本語・英語・繁体字)の投稿情報(5~7月) から見る旅行先の興味・関心、情報収集へとつながるスポット

日本語

対象アカウント
Instagram
@goodday_hokkaido



英語・繁体字

対象アカウントFacebook
https://www.facebook.com/visithokkaido.en
https://www.facebook.com/visithokkaido.tw



いいね数が多いコンテンツ

コンテンツ	リーチ数	いいね数	記事保存数
1 かみゆべつ のチュリップ公園 (湧別町)	32,707	2,883	56
2 芝さくら 涌上公園 (涌上町)	25,850	2,361	50
3 十勝岳連峰と キララシ (美瑛町)	24,847	2,720	32
4 北海道のおすめ ラベンダースポット (富良野エリア)	18,951	625	71
5 天狗山 熱気球 (小樽市)	13,918	1,196	45

記事保存数が多いコンテンツ

コンテンツ	リーチ数	いいね数	記事保存数
1 レトロな街を 路面電車で 見まわす(函館市)	10,258	975	78
2 北海道のおすめ ラベンダースポット (富良野エリア)	18,951	625	71
3 かみゆべつ のチュリップ公園 (湧別町)	32,707	2,883	56
4 奥尻島 (奥尻町)	13,667	1,678	55
5 芝さくら 涌上公園 (涌上町)	25,850	2,361	50

英語(東南アジア英語圏向け)

コンテンツ	リーチ数	いいね数	シェア数
1 星野リゾート トマム 雲海テラス (占冠村)	134,222	1,991	148
2 ファーム富田 ラベンダー (中富良野町)	123,103	3,204	244
3 三島さんの 芝さくら庭園 (倶知安町)	113,160	3,065	213
4 日の出公園 ラベンダー園 (上富良野町)	88,483	3,044	140
5 富良野 すずらん丘陵公園 チュリップ(札幌市)	74,739	3,347	211

繁体字(台湾香港向け)

コンテンツ	リーチ数	いいね数	シェア数
1 ひがしもこと 芝桜公園 (大空町)	218,132	7,427	333
2 船見坂 (小樽市)	137,329	4,366	74
3 上御所の 一本桜 (富良野市)	116,448	5,252	144
4 函館八幡宮桜 (函館市)	102,060	3,717	127
5 日の出公園 ラベンダー園 (上富良野町)	96,136	3,588	285

SNSの投稿から見る傾向

▷フォロワーの属性

年齢:35~54歳が52%を占める。次いで55~64歳が19%、
25~34歳が17%となっている。
移住地:22%が札幌、次いで横浜、旭川、帯広、大阪となっている。
▷観光スポットよりも季節ならではの花や旅を想起させる街歩
き等に高い関心が寄せられた。

集計対象期間:2022/5/1~2022/7/31

SNSの投稿から見る傾向

▷東南アジアや台湾・香港市場は雪への憧れが強い一方、桜や
芝桜、ラベンダーなどの花の鑑賞も人気が高い。
▷桜や芝桜の投稿に、鳥居を入れるとさらに日本らしさが増す
為、反応が良い。
▷4枚の写真を組み合わせた投稿フォーマットや、縦長の写真1
枚の投稿は、エンゲージメントが高くなりやすい。

キュンちゃんの小部屋



北海道観光振興機構 LINE公式アカウント

北海道の旬な情報はこちらから!
お友達登録が16.1万人を突破
(※令和4年8月下旬現在)
キュンちゃんが道内各地を紹介中!!

北海道の観光案内所



「どうさん旅サロン」は、「北海道どうさん
こプラザ」(北海道のアンテナショップ)
がある、東京交通会館の3階(札幌市東
京事務所内)にございます。(JR有楽町
駅下車すぐ)
道内各地のパンフレットを取り揃えてい
るほか、スタッフによる観光・イベント情
報の案内や旅行相談も承っています。

住所/東京都千代田区有楽町2丁目10-1
東京交通会館3階
営業時間/11:00~19:00
定休日/土・日・祝、年末年始、
施設の全館休業日
問合せ/電話03-6206-3163



JR札幌駅の「北海道さっぽろ食と観光
情報館」内にあり、専門のスタッフが日
本語以外に、英語、中国語、韓国語で旅
行相談に応じ、最新の観光情報を提供
致します。また、観光振興機構作成のパ
ンフレットのほか、会員施設のパンフ
レットが各種陳列されています。

住所/札幌市北区北6条西4丁目JR札幌駅西コンコー
ス北口「北海道さっぽろ食と観光情報館」内
営業時間/8:45~20:00 定休日/年中無休
問合せ/電話011-213-5088
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、観光案内
窓口を休止する場合がございます。ご利用時は電話に
てご確認ください。

会員募集中!

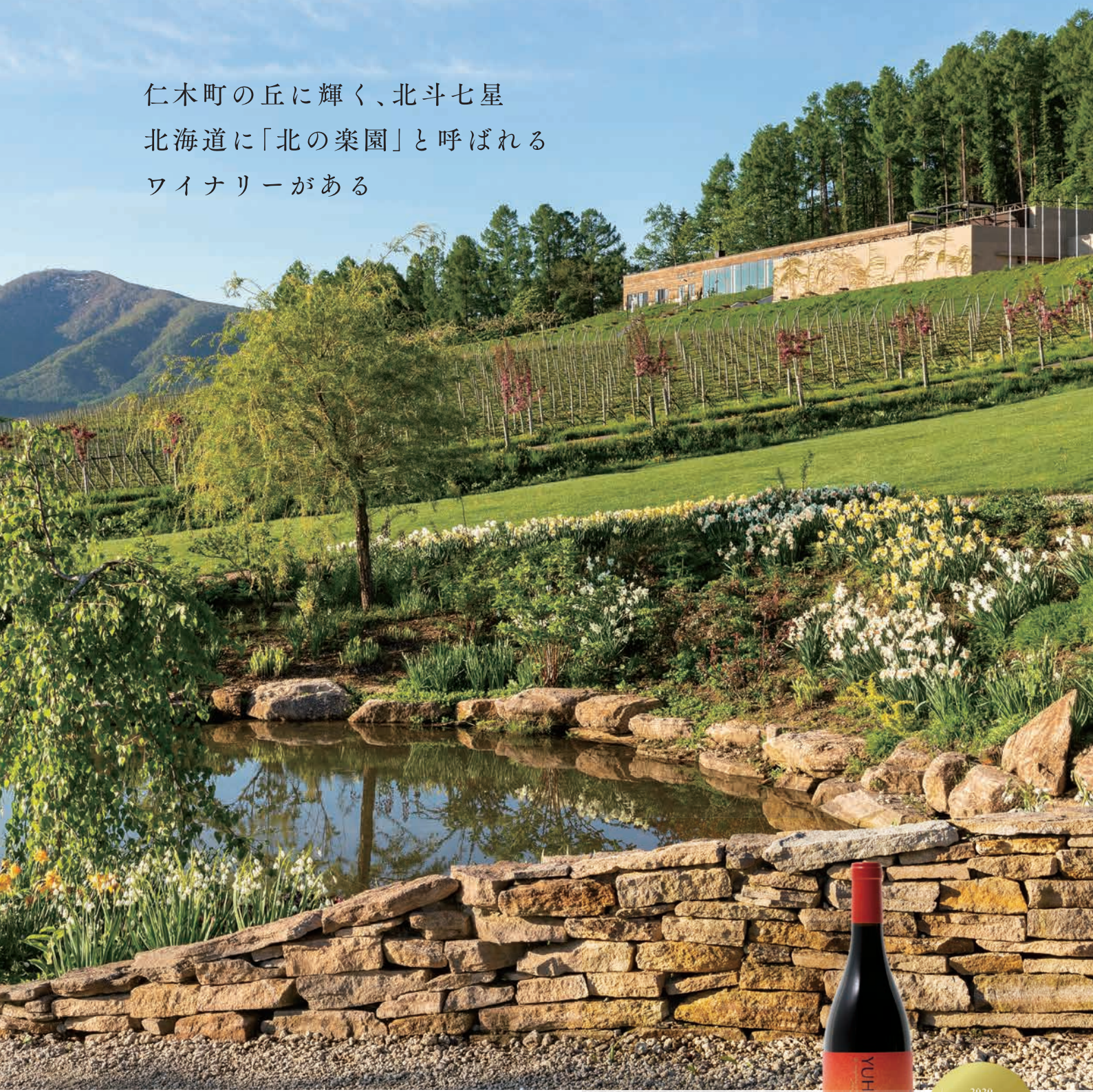
入会申込みの詳細は、
お問い合わせください。



■本レポートに関するお問い合わせ先

公益社団法人北海道観光振興機構
政策マーケティング部
〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1番1 緑苑ビル1階
TEL 011-231-0941 FAX 011-232-5064

仁木町の丘に輝く、北斗七星
北海道に「北の楽園」と呼ばれる
ワイナリーがある



世界最大級の国際ワインコンテスト
Decanter World Wine Awards 2020にて
「YUHZONE 2018」が赤ワインで日本初の金賞を受賞

NIKI Hills Winery

〒048-2401 北海道余市郡仁木町旭台148-1

Tel. 0135-32-3801 / 営業時間 10:00～16:00 (不定休)

<https://www.nikihills.co.jp>



website



アクセス

- ・札幌から車で約1時間。
- ・後志自動車道余市ICから約15分
- ・JR仁木駅よりタクシーで約5分



@nikihillswinery

